



勝池レポート      アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫  
「財閥の参入が相次ぐインドの美容と高級品ビジネス」



インドで最近話題になっているのが、大手財閥の美容や高級ファッションビジネスへの参入です。

タタは、美容や化粧品を扱う「ビューティー・テック」の店舗を国内に20か所以上開店する計画です。インドの美容・パーソナルケア商品の市場は近年急速に伸びていて、現在は2兆円を超えています。中でも、タタのターゲットは、海外ブランドを好む18歳から45歳の若くて裕福な「美容愛好家」で、この層の顧客に新店舗での限定商品を供給するため、現在多くの企業と交渉中です。「ビューティー・テック」では、製品やサービスを単に消費するだけでなく、デジタル・スキントックなどの「経験的消費」というインドではまだ新しいコンセプトが展開される予定です。

リライアンスは、ナチュラルズという企業に出資することにより、美容サロンビジネスに参入します。インドのチェンナイが本拠のナチュラルズは、現在20の州で約700のサロンを展開していますが、リライアンスはその数を2025年までに3,000店舗に拡大し、それにより1,000人の女性起業家に自信を与え、50,000人を雇用すると発表しています。

そして、ビルラ・グループのアディティア・ビルラ・ファッション&リテイルは、フランスの百貨店グループのギャラリー・ラファイエットと提携し、インドのムンバイとデリーに高級百貨店の出店を計画しています。扱われる主な商品は200以上の高級デザイナーブランドです。ビルラは、「インドには高級品の時代が到来している。インドは若くて、裕福な若者層の中心地になりつつあるようだ」と言っています。

私たちのインドのイメージには「遅くて、安くて、汚い」がありました。しかし、その時代は過ぎ去ろうとしています。「早くて、高級で、美しい」インドがもうそこまで来ています。





~~~~~ お知らせ ~~~~~

皆様、メールマガジンをご愛読いただきありがとうございます。早いもので、インドを色々な角度から書いてきてもう 4 年が経ちました。皆様の資産運用にお役に立っているでしょうか。

実はお知らせです。国際エコノミストの今井澁先生の著書『2024 年世界マネーの大転換』（フォレスト出版）が 8 月 23 日に発売されます。その第 4 章「どの角度から捉えてもやってくるインドの時代」は、先生と私との対談です。

内容は、なぜインドなのかを読みやすく纏めたものです。できましたらお手にとってご覧ください。他の専門家のご意見も新 NISA が始まる 2024 年の準備には大変参考になりますよ。

それでは皆様、今後ともよろしく願いいたします。

